

漫湖水鳥・湿地センター

たよい

2005年12月10日発行

No.29



たくさんの骨を触らせてもらったよ。

漫湖水鳥・湿地センター 講演会

ゲッチョ先生の 骨っておもしろい!!



骨を見せるゲッチョ先生。
鳥の全身の骨だ。すごい!!

12月2日(金)、漫湖水鳥・湿地センター講演会「ゲッチョ先生の骨っておもしろい」を開催しました。

講師は、ゲッチョ先生こと盛口満先生でした。

講演会が始まり、一番最初にとび出したのが「ドングリ」です。全員に配られた「ドングリ」は茹でられたもので、これをみんなで食べてみました。「おいしい?」「味がない!」いろいろな感想がとび出しました。はじめて、ドングリを食べた方も多かったのではないのでしょうか。

その後は、ゲッチョ先生の大きなリュックの中からいろいろな動物の骨がとび出し、その骨をみんなで触りました。

ウマ・ヤギ・ダチョウ・大きい骨・小さい骨・丈夫な太い骨・細くて今にも壊れてしまいそうな骨・・・動物の種類や骨の場所によっていろいろな骨がありました。



骨を見上げる子供たち。骨っておもしろい形をしてるなあ。

フライドチキンにも入っている骨ですが、しっかりと骨を観察する機会はないものです。ゲッチョ先生の楽しいお話とたくさんのお骨のおかげで、骨の持つおもしろさを発見できました。フライドチキンの骨も気になります。

今回の講演会は、センターのロビーで行うという初の試みで不十分な点があったかと思いますが、ゲッチョ先生、参加してくださった皆様、たくさんの方のおかげで無事に終了することができました。

骨だそう!



ゲッチョ先生

絵画・作文コンクール表彰式

2005. 12. 2

絵画コンクールの応募は302点、作文コンクールの応募は80点でした。応募してくださった皆さん、ありがとうございました！！入賞作品は、センターロビーにて1月20日まで展示しています。

●漫湖絵画コンクール入賞作品●

「最優秀賞」

題名	学校・学年	氏名
かにとあそんだヨ!	とよみ小学校2年	きんじょう ひなの
赤ちゃんたん生	天妃小学校4年	山内 美波
また来てね	とよみ小学校6年	具志堅 興哉



「優秀賞」

題名	学校・学年	氏名
いっぱいかにをとったよ	とよみ小学校1年	きしもとえれな
まんこたんけん	とよみ小学校2年	はざま りく
生き物とのふれあい	天妃小学校4年	砂川 結菜
まんこの生き物みんな友だち	とよみ小学校3年	座波 大輔
ゴミをすてないで	小祿南小学校6年	末吉 玲弥
羽を休める野鳥	とよみ小学校5年	大城 聖蘭
私が見た漫湖	鏡原中学校1年	平良 沙織
マングローブ	鏡原中学校1年	伊良部 みなみ



漫湖絵画・作文コンクール表彰式。入賞者のみなさん、おめでとうございます！

● 漫湖作文コンクール入賞作品 ●

「最優秀賞」

題名	学校・学年	氏名
まんこ・水どりしっちセンターを見学して	とよみ小学校2年	やまざと ともや
野鳥を友に	さつき小学校4年	小祿 健人
世界のつながり	上田小学校6年	新城 咲希
沖縄に来て始めた事	鏡原中学校1年	楠 希

「優秀賞」

題名	学校・学年	氏名
クロツラくんへ	天妃小学校1年	おおた みなこ
まん湖の自然いつまでも	豊見城小学校3年	佐久本 真菜
まん湖のカニたんけん	とよみ小学校3年	高原 安希
小さな事から…	伊良波中学校1年	大城 綾
漫湖と水鳥たちの願い	伊良波中学校1年	上原 安奈



表彰式にて、作文を朗読する小祿健人くん

作文コンクール 3・4年生の部 最優秀受賞

野鳥を友に～コサギとの出会い～

さつき小学校4年 小祿 健人

「あっ、大変、弱ったコサギがいる。」とつぜん、お母さんが大きな声をだしました。ぼくとお父さんは、びっくりして、お母さんの指さす方向を見ました。すると、羽はもう、びしょびしょ、弱りきったコサギがうずくまっていました。

8月31日、夏休み最後の日。早朝。ぼくとお父さんは、いつものように野鳥を観察に行きました。場所は豊見城警察署の向かいの干潟です。その日は台風13号が近づいていました。ぼくとお父さんは弱っているコサギを発見しました。そっと近づいていっても、コサギは、ぜんぜんていこうしませんでした。ぼくは、弱々しいその姿を見て、死ぬんじゃないかなあと思い、なみだが止まらなくなりました。すぐ漫湖水鳥・湿地センターに電話をしました。広川先生が急いで動物病院にれんらくをしました。コサギは入院しました。

3週間して動物病院から、コサギが元気になったというれんらくがきました。9月24日、自然に帰る日がきました。あんなにボロボロだったコサギが見事な姿に生まれ変わったのに、ぼくは感動しました。よくここまでがんばって生きてくれたね。これまでのいろんな思いがこみ上げてきました。ぼくは少しだけコサギをだっこさせてもらいました。保ごした時とはちが

い、コサギはぼくの手の中でモソモソと動いていました。ぼくの心の中でコサギに気をつけて生きていくんだよと、声をかけました。いよいよ放すしゅん間がきました。コサギは、ぼくたち家族、湿地センターの米谷先生、かんご士さん、テレビ局の人たちの見守る中で、拍手をあびて元気よく飛び立ちました。

この体験は、ぼくにとって一生忘れられない思い出になりました。何よりも生きる事と、死ぬ事がとなり合わせという事を知ったからです。

このように、毎日の観察を通して野鳥の名前を知るだけでなく、野鳥の心配をしたり、感動したり、もっと知りたいと思ったり、ぼくの心の中にも大きな変化がありました。

しかし、野鳥を観察するようになって感じた事は、干潟に捨てられているゴミの多い事でした。せっかくきれいな鳥が長旅を終えて、ぼくたちの目を楽しませてくれるのに、ゴミの干潟で渡り鳥をむかえるなんてかわいそうだと思います。今、小学生のぼくにできる事は、野鳥観察だけでなく、せっきょ的にゴミを拾うなどのボランティア活動を通して干潟の環境も整えて、少しでも多くの鳥たちが休める場所を作ってあげる事だと思います。



海藻おしぼで年賀状をつくろう！！

11月26日(土)、去年も大好評だった「海藻おしぼで年賀状をつくろう!!」を開催しました。講師は、サガラ ナオミ先生です。

まず、サガラ先生から「海藻」についての説明がありました。ワカメ・モスク身近な海藻はたくさんありますが、意外と知らないことばかりで、新しい発見がありました。

いよいよ、年賀状やクリスマスカードの作成です。机に並んだ海藻の中から好きなものを選んで、水の中で広げ、紙にのせていきます。色や形、重なり具合によって、海藻はいろいろな表情を見せてくれました。大人も子供も熱中し、黙々と作品作りに取り組んだ結果、とてもステキな作品が出来上がりました。



上 : サガラナオミ先生。
丁寧に教えてくださいました
右上 : 参加者作品。ステキ!!
右 : 作成中、熱中しています。



説明会にて、鳥の観察を行いました。

漫湖水鳥・湿地センター ボランティア に 新たなメンバー加わる！！



「国場川水あしび」
月桃の植え込みに奮闘中!!

昨年10月より活動を開始した漫湖水鳥・湿地センターボランティアですが、今年度、7名の新しいメンバーが加わりさらにパワーアップしました。

11月12日(土)、ボランティアとしての心得などの説明を受け、ボランティアとして登録しました。後すぐにアート教室・作品コンクール表彰式・講演会と行事続きのセンターをバックアップしていただきました。センター職員だけでは、手の行き届かないところまで手伝ってくださり、ありがとうございました。

今後、周辺の清掃活動・環境整備・展示物の作成・講座補助などさまざまな活動を行っていく予定ですので、センターボランティアをよろしくお願いいたします！！



作品コンクール表彰式の受付を行いました。

漫湖水鳥かわら版 29

～クロツラヘラサギ登場 11月～

11月	羽数	先月との比較
ササゴイ	1	↑
ダイサギ	10	↓
チュウサギ	3	↓
コサギ	6	↓
アオサギ	27	↑
クロツラヘラサギ	1	↑
オナガガモ	3	↑
ミサゴ	5	↑
サシバ	4	↑
ハヤブサ	2	↑
バン	3	↑
シロチドリ	22	↑
メダイチドリ	7	↑
ムナグロ	75	↑
ダイゼン	18	↑
トウネン	24	↓
ヒバリシギ	3	↑
ハマシギ	97	↑
アカアシシギ	34	↑
コアオアシシギ	2	↑
アオアシシギ	39	↑
キアシシギ	4	↓
イソシギ	12	↓
オオソリハシシギ	1	→
ダイシャクシギ	12	↑
ハウロクシギ	1	↑
チュウシャクシギ	7	↑
タシギ	3	↑
カワセミ	1	→
ハクセキレイ	3	↑
合計	430	↑

11月15日

この日もセンターのライブカメラを動かしながら「いないなあ…いないなあ…」毎日探しているのはあの鳥です。そこに、ずんぐり白い物体が!! そうです、クロツラヘラサギです。

三角池や具志干潟では、すでに確認されていたクロツラヘラサギですが、なんとも漫湖へはなかなかやってくるくれませんでした。ついに1羽のクロツラヘラサギを漫湖で確認しました。今季、初認です!!

久しぶりに姿を見せてくれたクロツラヘラサギですが、相変わらず昼寝をしています。

特徴的なくちばしを羽の中に埋めて、一本足になり、昼寝ばかりしているクロツラヘラサギ。お客様の「本当にクロツラヘラサギ?」の言葉を背に、「早く起きて、くちばしだしてくれないかなあ。」とつぶやく日々がつづきそうです。



11月17日

青空のきれいな天気の日、センター前の芝生を歩いていました。「キョッツ キョッツ」聞きなれない音がします。空を見上げると4羽のサシバがケンカをしていました。

いつもの「ピックイー」という伸びやかな声ではなく、どこか鋭い感じのする声でした。

サシバたちは、ケンカをして緊迫感のある光景ですが、ポカポカ陽気の中で青空にサシバが舞っているのを眺めていた私は、とてもどかな気持ちになりました。そんな気持ちにさせてくれたサシバくん達に感謝!!

行事のお知らせ

センター主催 自然観察会

新春 野鳥観察会



漫湖にはたくさん鳥がやってきているよ。
野鳥観察会に参加したことのない人も大歓迎!!

新しい年!! 新しい気持ちで鳥を見ましよう!!

日 時：1月15日（日） 13時～15時

対 象：小学3年生以上

集 合：漫湖水鳥・湿地センター

定 員：30名・要予約（先着順）

参加費：100円（保険料）

講 師：渡久地 政武先生（大名小学校教諭）

*お申し込みは、漫湖水鳥・湿地センターへ

(098) 840-5121

団体でのご利用

10月

地域

小学校	
米須小学校5年	糸満市
志真志小学校5年	宜野湾市
とよみ小学校4年	豊見城市
とよみ小学校3年	豊見城市
真壁小学校5年生	糸満市
豊見城小学校2年	豊見城市
中学校	
仲泊中学校	恩納村
鏡原中学校	那覇市
高等学校	
国府台高校	千葉県
鏡ヶ丘養護学校高等部	浦添市
開邦高校	南風原町
美里高校	沖縄市
医療・福祉関係	
友愛園	豊見城市
虹の家	那覇市
沖縄第一病院	南風原町
その他	
ジャスコクラブ	那覇市
ボーイスカウト	那覇市

ようこそ 漫湖水鳥・湿地センターへ



総入館者数

53,866名

入館者数

11月 1,275名
(うち団体 568名)



編集後記

沖縄も12月をむかえ、ぐっと寒くなりました。
ようやく冬の到来です。

今年度最大のイベントも事故なく無事に終え、
年末を迎えることができました。これもみなさま
のおかげです。本当にありがとうございました。
来年もよろしく願いいたします。



中井 聡子

年末年始 休館のお知らせ

12月29日(木)～1月3日(火)まで休館となります。
ご協力お願いします。

＜ 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会（環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市）＞

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ～ 17:00 休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合・翌日）、年末年始（12/29～1/3）

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http:// www.geocities.jp/manko_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)